

歩道の維持管理作業（補修等）作業計画に対する

登山道技術指針運用・活用ワーキンググループ意見（事務局まとめ）

計画者：北海道山岳整備 担当：岡崎 哲三

事務局受付：令和元年9月3日

（管理者との関係、設置した橋の管理について）

- 今回の補修については、（歩道の通行に係る根幹的な部分なので）管理者が行うべきことと思います（愛甲委員）。
- 完成後の橋についても、大雪山グレード2であることを踏まえ、その安全性を誰がどのように担保するのか、関係者でよく議論した方がよいと思います（愛甲委員）。

（鉄橋の再利用について）

- 倒木を利用したかけ直しについて賛成です。一方、鉄の橋は強度もあるため直したいという思いはあります。現地で橋を見ますと部品を現地で組み立てているように見受けられましたので、もしそうであれば、一度橋をばらして、補強の鉄材を入れてボルトで固定することはできないかと思いつきましたので、簡単ではないことは承知していますが提案させていただきました（三木委員）。